

Web 演習の課題である「公欠システム」についてのヒント集です。

1. カレンダーコントロールについて

カレンダーの表示については、HTML5 より存在するカレンダーコントロールを使うとらくちんです。

例) `<input type="date" name="date">`

↓こんな感じで表示されます

公欠日



※ただし、エクリプスの内部ブラウザは HTML 5 に対応していないので、ただのテキストになります。動作確認するときは、FireFox やクロームなどで確認しましょう。

また、上記の例であればサーバ側で入力情報を取得するのは

```
//値の取得
String dateString = request.getParameter("date");
```

で OK です。

例えば、入力画面で 2019 年 10 月 1 日を選ぶと、変数 dateString には
“2019-10-01” という形でハイフン区切りの文字列で値が格納されます。

2. 日付の変換について

ビーンズに格納するときに String→Date の変換が必要になります。

日付の変換は SimpleDateFormat を使うとできます。以下例です。

```
//文字列→日付の変換
String dateValue = "2019-11-01";
try{
    SimpleDateFormat sdf = new SimpleDateFormat("yyyy-MM-dd");
    Date date = sdf.parse(dateValue);
}catch(ParseException e){
    //エラー時の処理
}
```

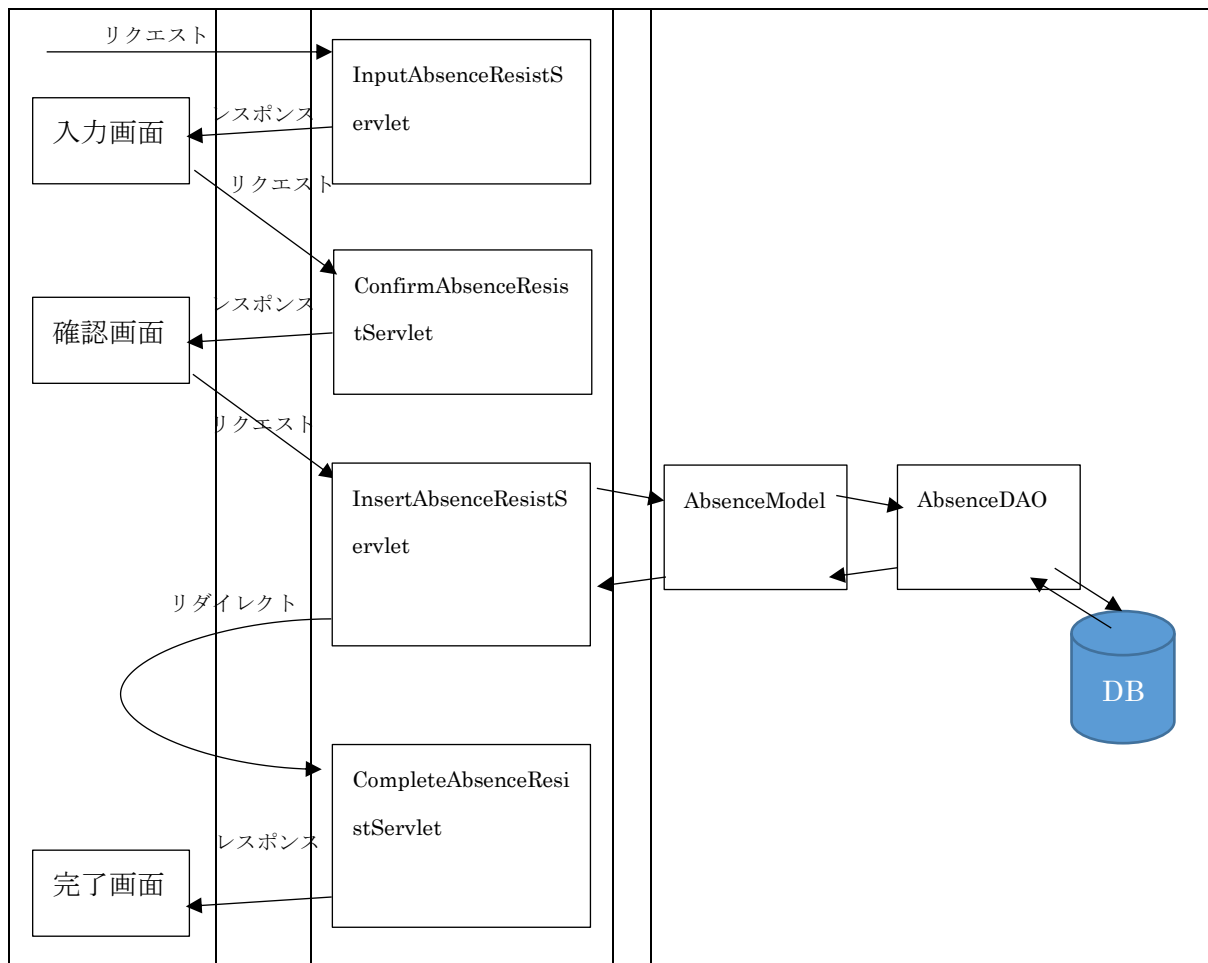
詳細は調べてみよう！

3. 登録処理の流れについて

登録の処理の画面遷移は以下のようになります。

登録画面→確認画面→完了画面

この流れを MVC 含めて考えると



DB に値を挿入するタイミングは確認画面で登録ボタンを押したとき、つまり InsertAbsenceResistServlet で行います。

挿入するデータは最初の入力画面で入力した値です。言い方を変わると**入力画面で入力した値を完了画面表示直前で挿入**するのです

要するに、リクエスト(画面)をまたいで、入力した情報を持ちまわらなければなりません。

リクエストをまたいで情報を保持するときに使用するのは「セッション」でしたね。

そう、登録画面の流れはセッションを使用して実現します。

セッションを含めた流れを図にしたものは以下の通りです

